取扱説明書

SANYO Software Pack 9.5

このたびは、本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
また、後々のためにに大切に保管してください。

もくじ

パソコンに接続する

パソコンに接続すると、カメラをカードリーダーとして使うことができます。

リムーバブルディスクとしての使用上の注意

- カメラ内のデータおよびフォルダに変更を加える操作は、行わないでください。カメラがデータを認識できなくなる場合があります。
  変更を加える場合は、パソコンのハードディスクにコピーしたものを使用してください。
- パソコン上でフォーマットしたカードは、カメラでは使用できません。カメラで使用するカードは、カメラ本体でフォーマットを行ってください。

動作環境

Windows

USB ポートを標準搭載し、Windows 2000 以降をプリインストールしたモデルに対応しています。Windows をアップグレードした環境での動作は、保証しません。

Mac OS

USB ポートを標準搭載し、Mac OS 9.0、9.1、9.2、Mac OS X10.1 以降をプリインストールしたモデルに対応しています。

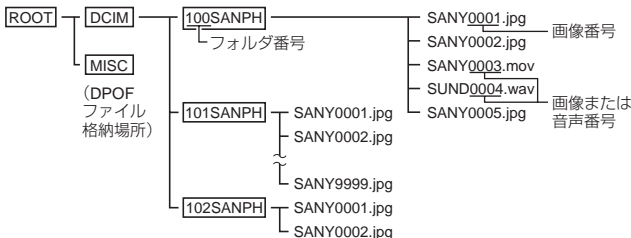
記録データの形式

カードに記録するデータの形式および、ファイル名を付ける規則は以下のようになります。

データの種類	データ形式	ファイル名命名規則
静止画データ	JPEG	SANYで始まる。拡張子は「.jpg」。 SANY＊＊＊＊.jpg
音声メモ データ	WAVE	対応する静止画データと同じファイル名。拡張子は「.wav」。 SANY＊＊＊＊.wav
動画クリップ データ	QuickTime Movie	SANYで始まる。拡張子は「.mov」。 SANY＊＊＊＊.mov*
音声記録 データ	WAVE	SUNDで始まる。拡張子は「.wav」。 SUND＊＊＊＊.wav*

*記録した順に続き番号が入る

パソコンに接続する(つづき)

カードのディレクトリ構造

※100SANPHフォルダ内には、9999枚までのファイルを保存し、さらに撮影/録音すると、新たに101SANPHフォルダを作り、この中に保存します。
フォルダ番号は順次102SANPH、103SANPH･･･となります。

ヒント

カメラで撮影した動画クリップデータについて

- Apple社のQuickTime 6以降を使用して、パソコンで再生することができます。
- QuickTimeは、以下のホームページで入手してください。
  http://www.apple.com/jp/quicktime/

カード入れ替え時のファイル名について

- ファイルNo.メモリ機能を[ON]に設定すると、カードを入れ替えてもフォルダ番号とファイル名は、前に装着していたカードの続きを付与します。

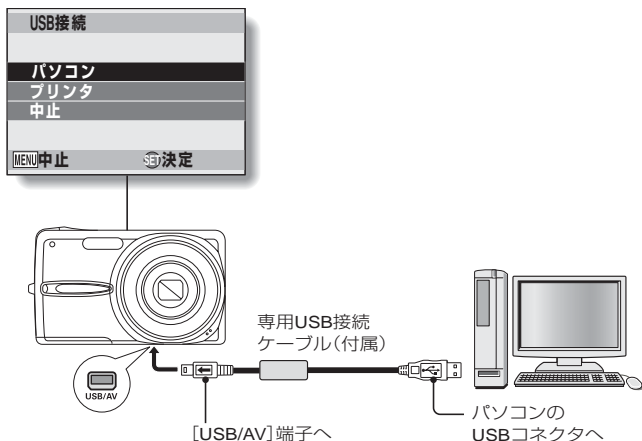
注意!

カメラで再生する場合はカードのデータをパソコンで書き換えない

- カメラで撮影した画像データは上記の規則に基づき、ファイル名を付けたり、指定のフォルダに保存をしています。このため、パソコンから直接ファイル名を変更したりすると、画像をカメラで再生できなくなったり、カメラが正常に動作しなくなります。

カードリーダーモードにする

1 パソコンを起動し、付属の専用USB接続ケーブルでカメラをパソコンに接続する

- カメラの[USB/AV]端子とパソコンのUSBコネクタを接続します。
- カメラのモニターにUSB接続画面が出ます。

2 [パソコン]を選び、[SET]ボタンを押す

- 接続モードを選択する画面が出ます。

パソコンに接続する(つづき)

3 [カードリーダー]を選び、[SET]ボタンを押す

- カメラのモニターに「カードリーダー接続中」というメッセージが出ます。接続が完了すると、このメッセージが消えます。

注意!

ケーブルの抜き差しは、ていねいに

- 接続するときは、プラグの向きとコネクタの形状をよく確認し、まっすぐに接続してください。無理に接続すると、端子を破損するおそれがあります。
- ケーブルを強く引っ張ると、ケーブルやコネクタ部を破損するおそれがあります。
- 専用USB接続ケーブルは、パソコンのUSBコネクタに接続してください。モニターやキーボードのUSBコネクタ、USBハブには接続しないでください。ドライバソフトウェアをインストールする時は、特にご注意ください。ドライバソフトウェアが正常にインストールできない場合があります。

内蔵メモリーのデータにアクセスする場合は?

- カメラのカードを取りはずしてください。

Windows Vista/XP

カメラの接続

1 カードリーダーモードにする[P4]

- タスクトレイに[新しいハードウェアが見つかりました]というメッセージが出て、カメラをドライブとして認識します。
- カードをディスクとして認識（マウント）し、[リムーバブルディスク(E:)]ウィンドウが開きます。

※ドライブ名(E:)は、お使いのパソコンの環境によって異なります。

2 Windowsが実行する動作を選ぶ

- 目的の操作を選んでください。

カメラの取りはずし

注意!

- カメラの取りはずしは、必ず以下の操作で行ってください。この操作を行わずに取りはずすと、パソコンが誤動作したり、カードのデータが破損する場合があります。

1 [ハードウェアの安全な取り外し]アイコンを左クリックする

- パソコンのUSBコネクタに接続している機器の一覧が出ます。

<Windows Vistaの場合>

- ウィンドウを閉じてください。

2 カメラのドライブ(E:)を左クリックする

- カメラを取りはずすことができる状態になります。

※ドライブ名(E:)は、お使いのパソコンの環境によって異なります。

パソコンに接続する（つづき）

Windows 2000

カメラの接続

1 カードリーダーモードにする[P4]

- パソコンのモニターに新しいハードウェアを検出するメッセージが出た場合は、メッセージに従ってドライバをインストールしてください。
- カメラをドライブとして認識し、[マイコンピュータ]に[リムーバブルディスク(E:)]アイコンが出ます。
  ※ドライブ名(E:)は、お使いのパソコンの環境によって異なります。
- カメラに装着したカードをドライブとして認識(マウント)します。
- [マイコンピュータ]の[リムーバブルディスク(E:)]アイコンをダブルクリックすると、他のドライブのメディアと同様、カメラに装着したカード内のファイルを操作することができます。

カメラの取りはずし

注意!

- カメラの取りはずしは、必ず以下の操作で行ってください。この操作を行わずに取りはずすと、パソコンが誤動作したり、カードのデータが破損する場合があります。

1 タスクトレイの[ハードウェアの取り外しまたは取り出し]アイコンを左クリックする

- パソコンのUSBコネクタに接続している機器の一覧が出ます。

2 カメラのドライブ(E:)を左クリックする

※ドライブ名(E:)は、お使いのパソコンの環境によって異なります。
- [ハードウェアの取り外し]ダイアログボックスが出ます。

3 [OK]ボタンをクリックする

- カメラを取りはずすことができる状態になります。

Mac OS 9.XX

カメラの接続

1 カードリーダーモードにする[P4]

- カメラをドライブとして認識し、デスクトップに[名称未設定]アイコンが出ます。
- [名称未設定]アイコンをダブルクリックすると、他のドライブのメディアと同様、カメラに装着したカード内のファイルを操作することができます。

カメラの取りはずし

注意!

- カメラの取りはずしは、必ず以下の操作で行ってください。この操作を行わずに取りはずすと、パソコンが誤動作したり、カードのデータが破損する場合があります。

1 デスクトップのカメラを示す[名称未設定]アイコンを[ごみ箱]にドラッグアンドドロップする

- デスクトップから[名称未設定]アイコンが消えます。
- カメラを取りはずすことができる状態になります。

Mac OS X

マウント／アンマウントは、Mac OS9.xxの場合と同じ操作で行えます。ただし、カメラの画像を自動認識するようにアプリケーションを設定している場合は、自動認識したアプリケーションが起動します。

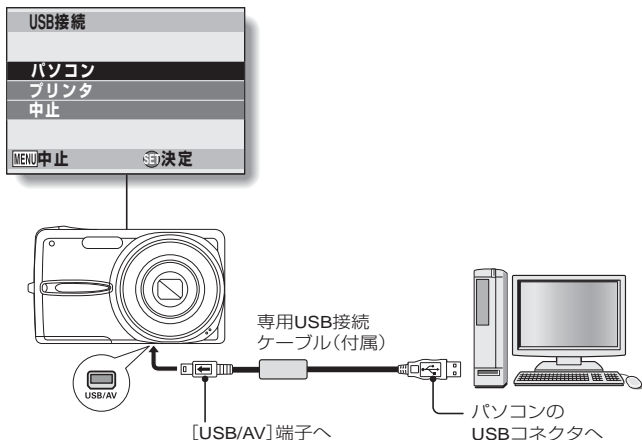
MTPモードで接続する

パソコンの OS に Windows Vista、Windows 7 をご使用の場合は、MTP モードで接続することができます。

1 付属の専用USB接続ケーブルでカメラをパソコンに接続する

- カメラの[USB/AV]端子とパソコンのUSBコネクタを接続します。

2 カメラとパソコンの電源を入れる

- カメラのモニターにUSB接続画面が出ます。

3 [パソコン]を選び、[SET]ボタンを押す

- 接続モードを選ぶ画面が出ます。

4 [MTP]を選び、[SET]ボタンを押す

注意!

ケーブルの抜き差しは、ていねいに

- 接続するときは、プラグの向きとコネクタの形状をよく確認し、まっすぐに接続してください。無理に接続すると、端子を破損するおそれがあります。
- ケーブルを強く引っ張ると、ケーブルやコネクタ部を破損するおそれがあります。
- 専用USB接続ケーブルは、パソコンのUSBコネクタに接続してください。モニターやキーボードのUSBコネクタ、USBハブには接続しないでください。ドライバソフトウェアをインストールする時は、特にご注意ください。ドライバソフトウェアが正常にインストールできない場合があります。

PCカメラとして使うには

Windows XP または Windows Vista を搭載したパソコンでは、このカメラを PC カメラとして使うことができます。

Windows XPの場合

以下のアップデートを実行してください。

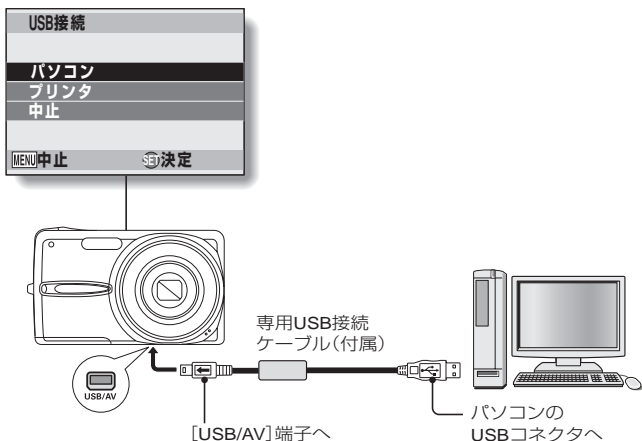
- WindowsXP を SP2 にする
  WindowsXP SP2 をインストールしてください。
- Windows messenger 5.0 以降をインストールする
  Windows messenger 5.0 以降をダウンロードし、インストールしてください。
- MSN messenger を使う場合は、MSN messenger 7.0 以降をインストールしてください。

注意!

- PCカメラ機能が使えるのは、Windows XPまたはWindows Vistaをプリインストールしたパソコンのみです。
- PCカメラでは、ズームはできません。また、撮影・配信できるのは画像のみです。音声を記録・配信することはできません。
- PCカメラ時、カメラは1秒間に最大15フレームの撮影ができますが、通信回線の状態やパソコンの処理速度によってはこれを下回る場合があります。

パソコンにカメラを接続する

1 パソコンを起動し、付属の専用USB接続ケーブルでカメラをパソコンに接続する

- カメラの[USB/AV]端子とパソコンのUSBコネクタを接続します。
- カメラのモニターにUSB接続画面が出ます。

2 [パソコン]を選び、[SET]ボタンを押す

- 接続モードを選ぶ画面が出ます。

3 [PCカメラ]を選び、[SET]ボタンを押す

ケーブルの抜き差しは、ていねいに

- 接続するときは、プラグの向きとコネクタの形状をよく確認し、まっすぐに接続してください。無理に接続すると、端子を破損するおそれがあります。
- ケーブルを強く引っ張ると、ケーブルやコネクタ部を破損するおそれがあります。

ヒント

[マイコンピュータ]に[USB Video Device]アイコンが出ない?(Windows XPの場合)

- デバイスドライバのインストールに失敗している可能性があります。[コントロールパネル]の[プリンタとその他のハードウェア]を開き、[スキャナとカメラ]から[USB Video Device]を削除し、デバイスドライバを再度インストールしてください。

SANYO Software Pack について

付属の CD-ROM（SANYO Software Pack）には、以下のアプリケーションソフトウェアが入っています。
それぞれインストールし、お使いいただくことによって、カメラで記録したデータをより幅広く活用することができます。

●ArcSoft Media Impression 2
デジタルカメラで記録したファイルをグラフィカルな画面で、分かりやすく管理することができます。

●SANYO Screen Capture（以降、「Screen Capture」と表記）
パソコンの画像をカメラに保存します。

動作環境

ソフトウェア	SANYO Screen Capture 1.1	ArcSoft MediaImpression2 *[2]
ＯＳ *[1]	Windows® 2000 Windows® XP Windows® Vista Windows® 7 （ＵＳＢ搭載機）	Windows® XP SP2 Windows® Vista Windows® 7 （ＵＳＢ搭載機）
CPU	Pentium 以上	Intel Pentium IV 1.6 GHz 以上 AMD Athlon XP 1800+ 以上
メモリ	128MB （推奨 512MB 以上）	512MB 以上 （推奨 1GB 以上）
ハード ディスク	60MB 以上の ハードディスク空き容量	300MB 以上の ハードディスク空き容量
その他	Direct X9.0 以上	
ドライブ	CD-ROM	

*[1]：ＯＳは、プリインストールしたモデルに限ります。
*[2]：動画再生には、別途Apple® QuickTime® 7 以降のインストールが必要となります。

アプリケーションソフトウェアのインストール

1 CD-ROM(SANYO Software Pack)を CD-ROMドライブにセットする

- しばらくすると、インストール画面が出ます。
- インストール画面が出ない場合は、マイコンピュータにある[SANYO DISC(D:)]をダブルクリックし、[SANYO DISC(D:)]ウィンドウの[Autorun]または[Autorun.exe]をダブルクリックしてください。

※ドライブ名(D:)は、お使いのコンピュータによって異なります。

2 インストールするアプリケーションソフトウェアの名称をクリックする

- インストール画面に出たアプリケーションソフトウェアの名称をクリックすると、インストールを開始します。
- [ユーザー登録や情報]をクリックするとインターネットに接続し、ユーザー登録やカメラの関連情報を掲載しているホームページを表示します。
- インストールプログラムは、各アプリケーションソフトウェアが正しくインストールできるよう、あらかじめ設定しています。パソコンに慣れていない方は、各ダイアロクボックスの[次へ]ボタンをクリックすることをお勧めします。
- アプリケーションソフトウェアのユーザー登録に関するダイアログボックスが出た場合は、何も入力せずに[次へ]ボタンをクリックしてください。
- パソコンの再起動を促すメッセージが出た場合は、パソコンを再起動してください。
- 各アプリケーションソフトウェアの詳細設定については、アプリケーションソフトウェアベンダーのホームページ、またはインストール後にオンラインヘルプを参照してください。

3 [終了]をクリックする

アプリケーションソフトウェアの使いかたについて

付属のアプリケーションソフトウェアをインストールすると、パソコン画面で使いかたが確認できる「オンラインヘルプ」が同時にインストールされます。
アプリケーションソフトウェアの詳しい機能や使いかたにつきましては、オンラインヘルプを参照くださいますようお願いいたします。

Kodakオンラインサービスについて

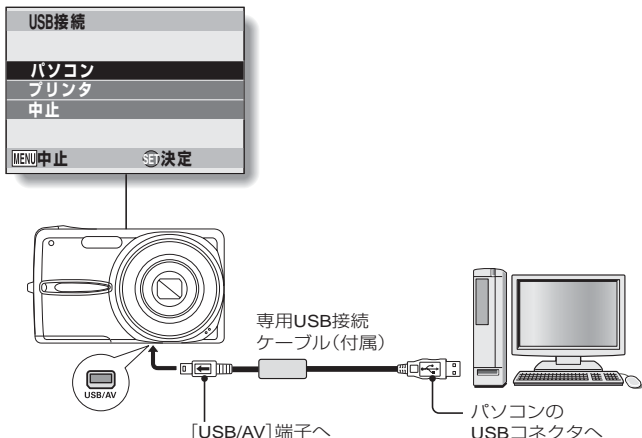
- インストールが閉じると、Kodakオンラインサービスを紹介するホームページに接続するダイアログが出ます。このホームページを見る場合は[今すぐおすすめ情報を見る]、見ない場合は[あとでおすすめ情報を見る]オプションボタンをONにして、[OK]ボタンをクリックしてください。

スクリーンキャプチャー

パソコンのモニター表示をウィンドウ単位でカメラに保存することができます。

パソコンにカメラを接続する

1 パソコンを起動し、付属の専用USB接続ケーブルでカメラをパソコンに接続する

- カメラの[USB/AV]端子とパソコンのUSBコネクタを接続します。
- カメラのモニターにUSB接続画面が出ます。

スクリーンキャプチャー(つづき)

2 [パソコン]を選び、[SET]ボタンを押す

- 接続モードを選択する画面が出ます。

3 [スクリーンキャプチャー]を選び、[SET]ボタンを押す

パソコンの画面をカメラに保存する

1 Screen Captureを起動する

- Screen Captureは、パソコンを起動すると自動的に起動します。

<Screen Captureを終了するには>

- タスクトレイの[SANYO Screen Capture 1.1]を右クリックし、[アプリケーションの終了]を左クリックしてください。終了を確認する画面が出ますので、[はい]を左クリックしてください。
- Screen　Captureを再度起動する場合は、[スタート]→[プログラム]→[SANYO Screen Capture 1.1]をポイントしてください。

2 カメラに保存したいウィンドウをパソコンのモニターに表示する

- 保存するウィンドウをアクティブにしてください。

3 シャッターボタンを押す

- 表示中のアクティブウィンドウをビットマップイメージでカメラに保存します。
- アクティブなウィンドウがない場合は、全画面を保存します。
- 保存データは、カードのドライブ:¥DCIM¥***SANPHフォルダに格納します。
- スクリーンキャプチャーを終了するには、Screen Captureを終了してください。

ヒント

- スクリーンキャプチャーは、カメラを1台だけ接続して行ってください。
- 保存できる1画面当たりのサイズは4MB(2,288×1,712ピクセル)に固定です。
- スクリーンキャプチャーを行っている時に、カメラの電源を切ったりカードを抜いたりしないでください。データが壊れる原因になります。
  また、カメラのカードや内蔵メモリーのデータをパソコンから操作しないでください。正常に動作しない場合があります。